



日に日に秋が深まり、露寒の季節となりましたが皆様には益々ご隆盛のこととお慶び申し上げます。
先日愛知県中小企業団体中央会主催のシンポジウムに参加してきました。岸 博幸氏の基調講演に引き続き愛知県内の中小企業経営者4名の参加によるパネルディスカッションが行われ興味深い討論を聞くことができました。パネリストの方々はそれぞれものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金を獲得し成果をあげておられる事業所さんであります。日本の経済を支えるのは我々中小零細企業であるとの自負の元、日々研鑽努力されている姿勢に大いに共感と感銘を覚え帰ってまいりました。国の新経済成長戦略には中小企業に対し手厚い施策が見られます。多くの助成金を積極的に利用するのは当然としても、同時に企業自らも絶え間ない技術革新を断行しなければ企業の存続はあり得ません。
組合では何事にも対応できる専門家と事務局が準備を整えて居ります。皆様のご要望をお待ちしています。

愛知商工連盟協同組合 理事長 鹿島 均

目次

- 2面 ▶ASKタスクフォース11月の研究会「相続トラブル事例」プレゼンター 税理士 山口 徹
▶新聞早読み、見出し読み「新卒・初任給」「65歳超の非常勤嘱託が活躍」「名古屋オフィス賃料、大阪に迫る」
- 3面 ▶知って得する司法書士実務「第4話 司法書士の裁判手続って何て?」司法書士 林清忠
▶事業再生なら鈴木相談「第12回 タンス預金」 監修 コンサルタント 鈴木廣彦
▶中小企業経営に活かす知的資産の活用「第7回 知的資産をストーリー化しよう」
アステル行政書士事務所 代表 丹所 美紀
- 4面 ▶めっちゃ楽しい、ふるさと交流「南伊勢町 一般社団法人 地方元気創生協会」
▶PMS教育研修・平成27年11月11日

大雪(たいせつ)12月7日頃

雪が激しく降り始めるころ。鱒(スズキ目の海魚)など冬の魚の漁が盛んになり、熊が冬眠に入り、南天の実が赤く色づくころ。

冬至(とうじ)12月22日頃

太陽の南中高度が最も低く、一年の間で昼が最も短く夜が最も長くなる日。

12月の誕生石:ターコイズ



石の効果:古くから視力を守る力があるとされてきました。勇気と行動力をもたらす、積極性を与えてくれます。危険から身を守るため、ある部族はこの石を盾にはめ込んで戦に臨んだといわれています。旅のお守りでもあります。

12月の誕生石:ブルージルコン



石の効果:癒しのパワーストーンと呼ばれ、エネルギーの発散と吸収の両方の力を持つといわれています。精神を安定させ、危険から身を守ってくれます。古くは、知恵、名誉、富、をもたらす石とされ、光沢がなくなると危険が迫ると信じられていたそうです。

師走(しわす)の由来

師走の語源は諸説あるが、正確な語源は未詳である。主な語源説として、師匠の僧がお経をあげるために、東西を馳せる月と解釈する「師馳す(しはす)」がある。



ふるさとの人が元気であれば、組織も地域も、ここに集う街の人も、元気になると考え活動を行っています。地域とのふれあい、生きがいをもって生活が送れるようになるため、南伊勢町にふるさと交流サロン『めっちゃ』を開設いたします。カフェ、海産物・農産物直売所、ビリヤード台、卓球台、を設置、楽しみながら町内外の方との交流を行います。また情報交換、音楽会、も行います。ぜひ『めっちゃ』の活動にご協力ください。



海産物・農産物、素材にこだわった地域の特産品を販売します。カフェでは、都会の喧騒を忘れて、ゆったりと進んでいく時間を過ごしてください。



南伊勢町 地域住民 歓迎します

近鉄名古屋駅から特急(約1時間20分)⇒宇治山田駅
⇒三重交通バス(約60分)⇒南伊勢町五ヶ所・道方

電話 0596-72-1520



「めっちゃ」のPRをされました。弊組合の鹿島理事長は地方元気創生協会の正会員であり南伊勢町地方にも訪れますが、こちらの田中代表理事が弊組合スタッフのお兄様でもあり十一月十二日、南伊勢町から田中代表理事をはじめ3名の方にご来訪いただき大曾根の弊組合会議室で

平成27年11月11日 PMS教育研修 開催

フォーティーンヒルズセンタービル 8F第一会議室 16時～



プライベートシームーク取得を目指す
愛知商工連盟協同組合の全従業員を対象にしたPMS教育研修が行われた。55名もの従業員が一同に集まると広い会議室も手狭になり部屋の空気も熱を帯びた。コンサルタントの長谷川先生は、プライベートシームーク制度の概要を事業者の側からと消費者の側からひもとき、個人情報の定義・具体例、PMS(個人情報保護マネジメントシステム)、及びPMS文書規定の概要、従業者の役割及び責任についてわかり易く話を進めてくれた。
最近、わたくしたちの生活まわりでも、コンビニのアルバイト店員などから「個人情報保護法からこちらの半分は持ち帰りください」といふなど、個人情報を適切に取り扱うことが当たり前になりつつある。
Pマークの取得を励ます鹿島理事長
Pマーク制度ホームページ「付与事業者一覧」には事業者名が公表されており、現在プライベートシームーク付与事業者は一万社を超えている。
中小企業者は三三五万者強あり三、二七万人の就業者を抱えている。
中小企業は日本経済を支える存在と期待されている。私どもの組合員さまにはすでにPマークを付与されて大きく事業展開されているところもある。お付き合いを深めていくためにも、Pマークの取得を目指している。

